

呼吸ケアチーム

【活動目的】

当院の呼吸リハビリテーション(以下、呼吸リハビリ)は平成4年より、呼吸器内科医師、看護師が肺気腫、肺結核後遺症患者さんを対象に排痰、呼吸法などを中心にスタートしました。その後、加齢に伴い肺機能が低下した高齢の COPD(肺気腫などの慢性閉塞性肺疾患)患者さんが増加したことで呼吸リハビリの需要が増え、平成22年より呼吸リハビリ専門医療チームを創設し、包括的呼吸リハビリ実施に向け本格的に活動を開始しました。現在は呼吸ケアチームとして入院、外来診療で年間約7000件の呼吸リハビリを行っています。

【構成メンバー】

医師2名、理学療法士1名、作業療法士1名、言語聴覚士1名、看護師6名、管理栄養士1名、薬剤師1名、臨床工学技士1名、臨床検査技師1名、医療ソーシャルワーカー1名
事務1名で患者さんを各々の専門分野でサポートすべく体制を整えています。

【活動報告】

① 「生き息さわやかに過ごす会」

毎年、患者教育や慢性呼吸不全患者さんの在宅生活を支える方々との交流の場として開催しています。令和3年10月30日に「地域に向けた在宅呼吸ケアコロナの時代を過ごすために」をテーマに実施しました

② 「呼吸ケア教室」

6月～12月の第4木曜日の13:30～14:00に患者さん向けの勉強会を行っています

令和3年6月 「コロナフレイル～自宅で出来る運動」

7月 吸入薬を続けることの大切さ

11月 新型コロナウイルス感染症について

12月 栄養を上手に摂るコツ～たんぱく質を中心に～ を実施しました

③ 「呼吸コアナース(院内認定看護師)」の活動

院内の看護師のレベルアップを目指して勉強会をしています

④ 「事例検討」

呼吸ケアチームで介入した事例を検討し、各患者さん、各疾患に合わせたオーダーメイドの呼吸リハビリが出来ているか評価振り返りをしています。



呼吸リハビリを行いながら、患者さんを取り巻くスタッフのレベルアップを行い、より良い医療・看護が提供できるよう健闘中です。今後高齢化がさらに進み COPD などの慢性呼吸不全患者さんのリハビリ需要は増大することが予測されるため、地域に根差した在宅呼吸ケアの中継点として当院がその役割を果たしていければと考えております。